



THE HIROSAKI UNIVERSITY LIBRARY BULLETIN

弘前大学附属図書館報 No.40 2014.11

目次	
附属図書館リニューアルオープン	1
リニューアルオープン図書館長挨拶	2
リニューアルの概要	4
1階フロア	6
2階フロア	8
3階フロア	11
本学教員等著作寄贈図書・資料一覧	12



左から加藤理事・副学長、佐藤学長、鈴木文部科学省情報担当参事官、郡館長

# リニューアルオープン図書館長挨拶

附属図書館長 郡 千寿子



本日は、お忙しいなか、附属図書館リニューアルオープンの式典にご臨席いただき、ありがとうございます。文部科学省からは、遠路、鈴木研究振興局参事官にご臨席いただき、本学関係者だけでなく、県内の教育関係機関からも多数ご臨席いただきましたこと、大変うれしく光栄に存じます。

旧図書館は、昭和45年の建設ですので、44年ぶりの耐震改修工事となりました。設計準備段階から、前館長の長谷川成一先生、現学生課長の工藤課長が陣頭指揮をとり、ご苦勞されてこられました。本日無事に、リニューアルオープンを迎えることとなりましたが、あらためて、附属図書館の歴代館長や図書館職員の方々が、今まで築いてこられた数々のご功績に敬意を表し、その伝統を受け継ぐことに重責を感じております。

図書館の歴史は古く、世界的には、紀元前7世紀のアッシリアの図書館、紀元前3世紀のアレクサンドリア図書館などが有名です。日本においては、8世紀、律令制の時代に誕生した「図書寮(ずしょりょう)」が最古といわれています。一般のために開かれた施設ではありませんが、「文殿(ふみどの)」に、国家の蔵書や仏教・儒教関連の書物などを保管し、あわせて国史の編纂、本の装丁、仏像の管理も行っていました。

公開の図書館としては、奈良時代後期、大納言の貴族、石上宅嗣が平城京(私の故郷、現在の奈良市)に創設した私設の図書館「芸亭(うんてい)」が最も古い図書館として知られています。蔵書を開放し、教育機関としての機能も持っていました。実は、「図書館(としょかん)」と呼ばれるのは意外に新しく、幕末明治初期には、「文庫」「書院」「書庫」などと呼ばれ、「図書館」は使われていませんでした。「図書館」が使われるのは、明治20年以降で、当初、よみは「ずしょかん」「としょかん」の二通りありました。もっぱら「としょかん」と呼称されるようになるのは、大正(1912年)以

降のことです。国家の成熟や発展とともに、図書館の役割や機能、また名称も変化を遂げてまいりました。

さて、本日、弘前大学附属図書館も、新たな役割や機能を備え、弘前大学の中での大きな使命を担って活動を再開いたします。

附属図書館は、大学の教育研究にとって必要不可欠な重要拠点です。学術情報の集積という、従来の役目はもちろん果たさなくてはなりません。しかし今後は、地域に開かれた、知の交錯する場所、という機能がより重要になってくると思います。今や、座ったまま、自宅や研究室にいながらにして、わざわざ図書館に足を運ばなくても、必要な本や資料、情報を手に入れることができます。自分で必要だと思ったことに関しては、インターネットの活用によって事足り、大変便利な時代になりました。

しかし一方で、そうした環境では、自分の想定内の世界を見ることしかできないともいえます。図書館を散策することで、今まで全く頭に浮かんだことのない本や資料に出逢い、全く新たな発想を生むきっかけをつかむことができるかもしれません。また、今まで話す機会がなかった、専門分野の違う友人や先生と出逢い、意見交換することができるかもしれません。

想定外の世界を知る、違う自分を発見する、そんな可能性が見つかる、知識の交流が生まれる図書館利用が広がればと期待しています。

また今後は、教育にも積極的に関与していきたいと考えています。情報源をどう利用すれば、学生の認知や思考が活性化し、学習効果を生むのか、そうした学習支援についても、図書館の果たすべき役割のひとつとして検討して参ります。社会や地域と、図書館がどのように連携できるかも課題のひとつです。

ここで図書館がどのように変わったか、簡単に

お話いたします。耐震とともに、バリアフリー化を図り、安全な環境を実現したこと、多様な学習環境を提供する「ラーニングコモンズ」を充実したこと、閲覧室の機能改善など学習環境の整備充実を図ったこと、そして、資料収蔵能力を向上させたこと、が大きな改修ポイントです。図書館外観でいえば、2階の入り口を1階にし、総合教育棟側に移動しました。身障者用のエレベーターやトイレの設置、階段を広くするなど、安全性にも配慮しています。

図書館入口すぐに総合カウンターを配置し、利用者の利便性を向上させました。案内表示も統一性のとれたものとなり、館内では、青森の伝統文化、こぎん刺しやサクラ、弘前城などのモチーフを見つけることができますでしょう。

教育的な機能の充実は、今回の改修ポイントでもあります。グループ学習や少人数での主体的な学修を支援するためのスペースがいくつか設けられています。館内の新しい什器、かわいい机や椅子は、どんなものが使いやすく、どんな配色のものが学ぶ環境にふさわしいか、現場の図書館職員が議論しながら、一生懸命に選定してくれたものです。

リフレッシュするスペースとして、オープンラウンジとオープンテラスを設け、このエリアのみ、ペットボトル飲料などが持ち込めるようになりました。

弘前大学らしさ、青森の地域色を何とか出したい、と1階閲覧室のテーブルパネルには、こぎん刺しを採用し、ブナコのペンダントライトを取り

入れました。少し高価だったことや設置場所などに課題があり、大変苦勞しましたが、三上課長はじめ業者の方々がそれぞれに尽力していただき、実現することができました。

資料の保管については、新しく集密書架を設置し、約10万冊収蔵能力を向上させています。3階部分は、パソコンサテライトと視聴覚資料が利用できるブースになっています。

このリニューアルオープンのお機会に少しでも弘前大学の附属図書館に興味をもっていただき、本学の学生や教職員だけでなく、地域の方々も足を運んでくださればと願っています。多くの方が立ち寄り、利用したくなる図書館でありますよう、今後も皆様からのご意見を頂戴しながら、日々努力して参ります。

最後になりましたが、改修にあたっては、多くの関係部署に多大なご協力を賜りました。

学長先生はじめ、お世話になった教職員すべての方々にこの場を借りて深くお礼申し上げます。大学を取り巻く社会や環境は、大きく変化しています。図書館だけが従来のものであってよいはずはありません。今後、弘前大学の図書館としてどうあるべきかはもちろん、地域社会や教育にも貢献する図書館像を意識し、新たな諸課題について、気持ちを引き締め、職員一同、研鑽を積む覚悟でございます。

今後の叱咤激励とご支援ご協力をお願い申し上げます、挨拶とさせていただきます。

(2014年10月1日)

(こおり ちずこ)

# 図書館本館リニューアルの概要

附属図書館本館（旧館）は平成 24 年度補正予算により平成 25 年 9 月～平成 26 年 7 月までの改修工事を終え、ラーニングコモンズの充実、学習環境の整備充実等を図り、平成 26 年 10 月 1 日（水）にリニューアルオープンしました。

## 主なリニューアルポイント

- ・耐震改修とともに、バリアフリー化を図り、安全な環境を実現
- ・多様な学習環境を提供する「ラーニングコモンズ」の充実
- ・閲覧室の機能改善など学習環境の整備充実
- ・資料収蔵能力の向上

## リニューアル後の利用者サービス

- ・サービスカウンター統合
- ・全資料開架式
- ・館内の一部で飲用可
- ・書庫を図書、雑誌で配架統一

## 外観

改修：旧館部分（昭和 45 年 4 月建設）3,880 m<sup>2</sup>



改修前



改修後

## 安全性に配慮した施設

### (1) 利用者入口の変更

2 階北側階段から 1 階東側総合教育棟向に変更



危険性のあった 2 階への利用者入口

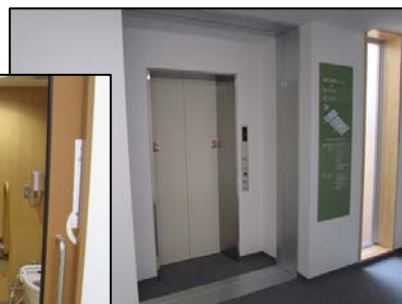


安全性への配慮とバリアフリー化した 1 階利用者入口

## (2) 車椅子等でも利用可能にバリアフリー化

### 改修前

車椅子等利用入口が旧館と本館の間にあり, 図書館職員とインターホンのやりとりで入館。補助が必要な場合は2階カウンターから1階車椅子等利用入口に行く必要があった。また, 1階車椅子等利用入口から2階閲覧室までの導線が長く不便であった。



車椅子等利用導線の改善となるエレベーター

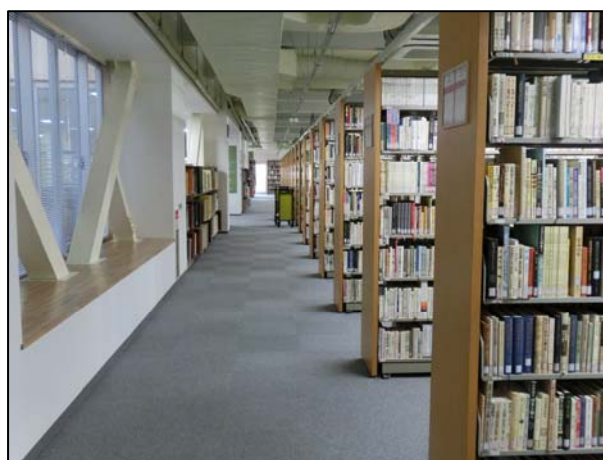
1階利用者入口付近の多目的トイレ

## 学習環境の整備充実

### キャレルデスク・椅子の更新



## 2階開架書架の再組み立て、耐震補強、側板追加



# 1階フロア



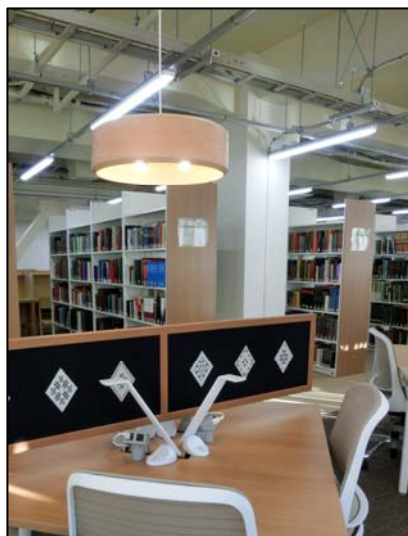
## サービスカウンター



メインカウンターと参考調査カウンターを統合し、1階利用者入口付近にサービスカウンターが配置されています。職員の効率的な配置を实践し、ワンストップサービスを目指します。

# 1階閲覧室

窓際カウンター席(24席)と4人掛けテーブル席(PC用コンセント有り 36席)など閲覧机が並びます。4人掛けテーブル席には、津軽の伝統である「こぎん刺し」のデスクトップパネル、「ブナコ」のペンダントランプが配置されています。



# 集密書架



手動式集密書架を新設し、約9万9千冊の蔵書収納スペースを確保しました。書庫(第1書庫, 第2書庫, 集密書庫【A・B・C】)は自由に出入りできます。

第1書庫(図書)

第2書庫(雑誌)

集密書庫(郷土資料・白書・年鑑)



# 2階フロア



## 2階閲覧室

一般図書、新着雑誌、文庫・新書コーナー、コレクションコーナー（太宰治研究文庫、加藤謙一文庫、津軽学コーナーなど）を配置しています。閲覧机を一新し、1脚毎にかばん掛けフックと照明が付いています。





# アクティブ・ラーニング・エリア 他

## ①アクティブ・ラーニング・エリア（個別学習エリア）



予約なしで自由に利用できるエリアです。

机と椅子が一体型になっているので、席を自由に組み替えて利用ができます。ホワイトボードとスクリーンも用意されています。もし他の人の通行が気になる場合は、ロールスクリーンを下ろすこともできます。ここではノートパソコンの使用も可能です。

2階と3階にアクティブ・ラーニング・エリアがあります。一般利用者の方も利用できます。

## ②グループ・ラーニング・ルーム（グループ学習室）

予約制です。

1部屋6～10名用ですが、パーティションを外すことで多人数にも対応できます。予約制のため、学生・教職員のみ利用となります。

2階にはルーム1とルーム2の2部屋あり、3階にルーム3・ルーム4・ルーム5の3部屋あります。

プロジェクター、マイク、ノートパソコン等を貸出していますので、ご希望の方は予約時にお申し込みください。



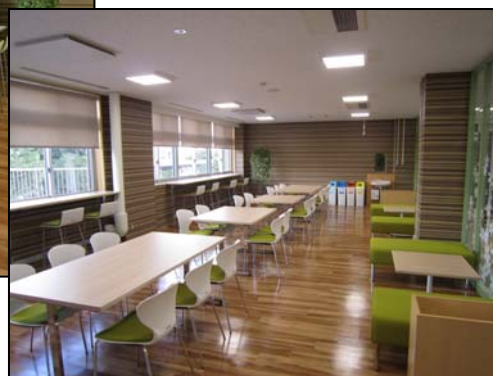
### グループ・ラーニング・ルームの各部屋について

階数	部屋名	利用可能人数	設 備	備 考
2階	ルーム 1	6～8名	スクリーン	電子ホワイトボード2台 1部屋として 利用可能
2階	ルーム 2	6～8名		
3階	ルーム 3	8～10名		電子ホワイトボード2台 1部屋として 利用可能
3階	ルーム 4	8～10名		
3階	ルーム 5	8～10名	スクリーン	

### ③オープンラウンジ



勉強の合間の休憩室です。  
一般利用者の方も利用できます。  
オープンラウンジ・オープンテラスでは、「蓋付き飲み物」のみ（ペットボトル、マイボトル、水筒など）持ち込みが可能です。  
食べ物は禁止です。



### ④オープンテラス



改修工事前は利用者用玄関だったところを、オープンテラスとして残しました。  
オープンラウンジと同様、「蓋付き飲み物」のみ飲用できます。食べ物は禁止です。



# 3階フロア



## PCサテライト



総合情報処理センターサテライト端末 50 台を配置しています。平成 27 年 3 月総合情報処理センター情報基盤システム更新で貸出用ノートパソコンが 20 台追加整備される予定です。

# 本学関係者の著作で、図書館に寄贈された図書と資料の一覧

平成26年4月～平成26年9月分受贈分

学部名	寄贈者名	書名	発行所	数	所蔵先
人文学部	白石壮一郎	文化の権利、幸福への権利：人類学から考える	関西学院大学出版会	1	本館 1
		ウガンダを知るための53章	明石書店	1	本館 1
		フィールドに入る	古今書院	1	本館 1
	奥野浩子	青森県の小学生への韓国語学習導入の可能性をさぐる = Dreams into Reality : Korean Language Study among Elementary School Children in Aomori	青森グローバル教育研究会	1	本館 1
	保田宗良	公共交通を活用した中弘南黒地域活性化の研究	小野印刷	1	本館 1
	山田巖子	弘前市鬼沢鬼神社の信仰と民俗	弘前大学人文学部文化財論講座	1	本館 1
	内藤周子	地域再生のための経営と会計：産業クラスターの可能性	中央経済社	1	本館 1
	宮坂朋	イタリヤの世界文化遺産を歩く	同成社	1	本館 1
	関根達人	日本人はどこから来たか	朝日新聞出版	1	本館 1
	加藤恵吉	ベーシック税務会計	創成社	1	本館 1
人文学部		アフリカ学事典 = Encyclopedia of African studies	昭和堂	1	本館 1
教育学部	美術科教育研究室	小学校の特性を活用した図工科学習モデルの構築	Atlas Contact	1	本館 1
医学研究科	今泉忠淳	湯屋 50 景	水星舎	1	本館 1, 分館 1
保健学研究科	元教授 千葉正司	線描人体解剖学	考古堂	1	分館 1
弘前大学出版会		知能機械工学実験・実習テキスト A 平成 26 年度版	弘前大学出版会	3	本館 2, 分館 1
		知能機械工学実験・実習テキスト B 平成 26 年度版	弘前大学出版会	3	本館 2, 分館 1
		被ばく患者対応トレーニングマニュアル	弘前大学出版会	3	本館 2, 分館 1
		弘前大学で見つけた一〇七の言の葉ノート：勉学人生世界観	弘前大学出版会	3	本館 2, 分館 1
		確率・統計入門：Introduction to Probability and Statistics	弘前大学出版会	2	本館 2
21 世紀教育センター	田中正弘	大学教育改革の実態の把握及び分析に関する調査研究	広島大学高等教育研究センター	1	本館 1
卒業生	野沢忍	老樹：野沢しの武句集	東奥日報社	1	分館 1
弘前大学生生活協同組合		弘前大学卒業記念アルバム	弘前大学生生活協同組合	1	本館 1



弘前大学附属図書館報「豊泉」第40号 発行日：平成26年11月28日

編集／弘前大学附属図書館広報委員会

発行／弘前大学附属図書館 〒036-8560 青森県弘前市文京町1

TEL 0172(39)3162 FAX 0172(39)3171 URL <http://www.ul.hirosaki-u.ac.jp/>

標題の「豊泉」は、明治9年の「仏国学制」付録上巻中の「人智ヲ広ムルノ豊泉アリ」の文に基づき、松原邦明名誉教授命名 題字：藤原楚水編「書道六體大字典」（三省堂）より